

税を考える週間に、適正申告納税と法人会活動を通じて納税道義の高揚にご功労された皆様に表彰状が授与されました。
なお、例年税を考える週間に開催される「納税表彰式」が本年は新型コロナウイルスの影響から開催されないこととなったため、名古屋国税局長及び名古屋中税務署長から受賞者の皆様に直接授与されました。

財務大臣表彰受彰者



公益社団法人名古屋中法人会 筆頭副会長
荒川 慎太郎 氏

名古屋中税務署長表彰受彰者（五十音順）



公益社団法人名古屋中法人会 経営研究会 副代表幹事
茂山 光夫 氏



公益社団法人名古屋中法人会 女性部会 顧問
眞野 綾子 氏



公益社団法人名古屋中法人会 常任理事
水野 幸信 氏

名古屋中税務推進協議会長表彰受彰者（五十音順）



公益社団法人名古屋中法人会 青年部会 監事
杉本 高男 氏



公益社団法人名古屋中法人会 青年部会 副部会長
鈴木 拓将 氏



公益社団法人名古屋中法人会 副会長
瀧 健太郎 氏

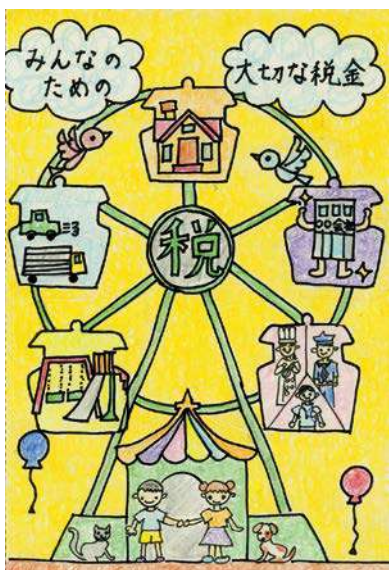


公益社団法人名古屋中法人会 青年部会 副部会長
菱田 康平 氏

税を考える週間（令和2年11月11日～17日）税に関する優秀作品展示

作品展示／11月16日～20日 三井住友銀行SMBCパーク栄 1F

税に関する絵はがきコンクール優秀作品



名古屋中税務署署長賞
正木小6年 矢野 香芽 さん



名古屋中法人会会長賞
橘小6年 佐藤 帆夏 さん



名古屋中法人会女性部会会長賞
正木小5年 藤井 羚 さん



絵はがき審査 名古屋中税務署



三井住友銀行SMBCパーク栄



三井住友銀行 SMBC パーク栄 習字の展示



中区の中学生による「税に関する作文」
名古屋中法人会会長賞
伊勢山中3年 森野 喬士郎 さん



中区の中学生による
「税に関するポスター」入賞作品
丸の内中3年 稲垣 桃 さん



れんらくぶくろコンテストによる「税のデザイン」



ナゴヤは新しい『名企業』を生み出せるか

～デジタル革命期のスタートアップ点火～



左から水野 明久、松尾 清一、藤田 豪、松下 健の各氏



中部経済連合会 会長
水野 明久 氏



東海国立大学機構名古屋大学総長
松尾 清一 氏

テーマ① 中部の潜在力

- 世界的な製造業の集積地
- 自動車産業の「CASE（つながる、自動車運転、シェアリング、電動化）」
- 外部の技術とオープンイノベーション

テーマ② スタートアップの課題

- 大学と企業に眠っている技術の発掘
- ものづくりとデジタルの融合

テーマ③ 起業家の育成

- 小中学生向けのデジタル技術を学ぶ
- 異業種交流（イノベーターズガレージ 栄ナディアパーク4F）
- 中経連と名大、愛知県、名古屋市の共同事業体による5年で1万人の人材輩出

テーマ④ 産官学の有機的な連携

- グローバル拠点に選ばれた名古屋市と浜松市
- 公共データの公開と活用
- 社会活動の解決と新たな価値の創造

テーマ① 中部の潜在力

- 自らの手で社会を変える力の意識が芽生えた大学

テーマ② スタートアップの課題

- 起業の先行例少ない日本
- 起業意識を醸成して裾野を広げる
- トンガリプロジェクトを広げ、年間受講者を3倍の1万人（中部地区の国公立9大学による起業家育成支援計画）
- 起業そのものが学位取得

テーマ③ 起業家の育成

- 教員が積極的に起業を後押しする
- 起業家の友人からの啓発
- 学生に投資する企業

テーマ④ 産官学の有機的な連携

- 連携で社会の見方や周囲の意識が変わり加速する
- 学生が社会や産業界を理解し、社会ニーズや改革すべき課題を学ぶ「共創教育」の実現
- 大学によるデジタルトランスフォーメーション

世界の起業拠点を目指す

日時／令和2年12月8日(火) 14:00～15:00 主催／日本経済新聞社名古屋支社、テレビ愛知
後援／中部経済連合会、中部経済同友会、名古屋商工会議所、愛知県経営者協会、中部生産性本部、名古屋日経懇話会、名古屋中法人会



司会：日本経済新聞社 名古屋支社 編集部長 野々村 和彦氏



テーマ① 中部の潜在力

- 大手製造業で働く何万人もの優秀な若者
- スタートアップで新たなアイデア

テーマ② スタートアップの課題

- 企業は社員の兼業や副業を柔軟に認める必要がある
- 社員の社会貢献活動を支援

テーマ③ 起業家の育成

- お金の価値やSDGs（持続可能な開発目標）の理解を体験活動を通じて深めさせる
- 大人が起業に対して見守り、同じ目線に立って共にやる姿勢が求められる

テーマ④ 産官学の有機的な連携

- 新規事業の窓口が見えにくい大企業
- 関連イベントの積極的な参加
- コミュニケーションを深めて化学反応を起こす



テーマ① 中部の潜在力

- 名大や名工大に研究力の高い理系人が揃っている
- 企業のインターシップを体験した多くの学生が、スタートアップに興味を示している
- 投資するオーナー企業が多い

テーマ② スタートアップの課題

- 組織づくりや経営戦略を支えてくれる経験豊富な専門家や先輩経営者が東京と比べて少ない
- 知見ある人を紹介できるプラットフォームの構築

テーマ③ 起業家の育成

- 起業のための1～2年の留年は採用に影響させない
- 起業経験をメリットとして採用で積極的に評価する

テーマ④ 産官学の有機的な連携

- 産官学のスタートアップの窓口担当者は気軽に話ができる同世代が望ましい
- 若い世代同士、素直に活発な議論できる環境ができるとうれしい

一般社団法人愛知県法人会会員様向け

企業情報・格付情報照会サービス

取引先や仕入先の取引審査に！

2020年はコロナ関連倒産が増加傾向にあり、新規取引先の調査のみならず、既存取引先への継続管理の強化がより一層重要になります。零細企業では倒産や廃業が増え、今後、より規模の大きな企業にも広がり増勢をたどる可能性が高まっています。

「企業情報・格付情報照会サービス」は、金融機関の融資審査ノウハウを応用した企業の倒産リスクを9段階で評価し、企業の情報変化を管理するクラウドサービスです。

入会金基本料0円

金融機関融資審査
ノウハウを応用した格付

継続管理

与信管理強化キャンペーン

期間 2020年12月1日から2021年6月30日

価格

・格付 800円 → **600円（1回）**

・与信管理ファイル

9件まで1,000円（月額） → **19件まで1,000円（月額）**

10件以上1件100円（月額） → **20件以上1件50円（月額）**

ご利用イメージ



リモートワークでご利用可能なクラウドサービスです。
一度照会した情報は、社内で共有が可能です。無償でIDを追加できます。



1. 情報収集

- ・ 企業検索
- ・ 格付／評点／財務諸表

企業情報・格付情報照会 サービス



2. 取引審査

- ・ 取引可否の決定
- ・ 与信限度額算出
- ・ 取引条件の見直し



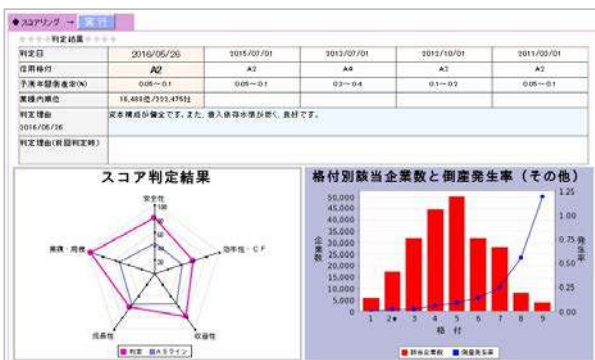
3. 継続管理

- ・ 取引先情報の更新をメール通知
- ・ 定期的な調査

ご利用金額

照会情報	内容	ご利用料金（税別）
スコアリング 信用格付	金融機関の融資審査モデルにより企業を9段階で格付	—(法人会会員様特別価格)—800円/件 ⇒(キャンペーン価格) 600円/件
与信管理ファイル (継続管理)	照会した企業の登録・継続管理	10件以上100円/月(×登録数) — 20件以上 50円/月(×登録数) 1～9件1,000円/月 1～19件まで 1,000円/月
企業情報	評点、業績、取引先、仕入先など主要項目と履歴	1,200円/件
財務情報	財務5帳票(貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書、キャッシュフロー計算書・財務比率)	2,000円(1期・2期)/件 3期以上同時照会1,000円/期加算

この期間に、取引先の信用格付、継続管理を運用し、企業の変化を体感いただけます！



【取引先30社の場合(キャンペーン価格)】

信用格付 : 600円×30社 = 18,000円

継続管理 : 50円×30社×7ヵ月 = 10,500円

合計で、通常価格より**16,500円**もお得です！

※キャンペーン価格で7ヶ月間利用した場合

※キャンペーン価格は2020年12月～2021年6月末までのご利用料金に適用致します。7月以降は、照会、登録件数に基づき、通常のご利用料金をご請求させていただきます。

※企業情報(1,200円)、財務情報(2,000円～/1期)は、キャンペーン対象外です。

※与信管理ファイルに登録した企業の一括洗替、電話による簡易取材調査など、詳細はホームページをご参照ください！



動画で与信管理の考え方を
ご紹介しています！



●格付の活用



●取引先を継続的に管理する

ホームページ／新規お申込み方法

<https://www.ags.co.jp/nw/aichi/>

またはQRコードから

1. 利用登録
(WEB)

「利用登録」フォームで企業名、代表者名、所属法人会などを入力。

2. 本申込

AGSから申込書と口座振替依頼書を郵送でお送りしますので、ご返送ください。

3. ご利用開始

AGSからお客様番号・ID・パスワードのご案内後よりログインしてご利用ください。

※お申込みには審査があり審査の結果、ご利用いただけない場合もございますので予めご了承ください。本申込からご利用開始までは**約2週間**いただきます。

※本サービスの動作環境はMicrosoft Internet Explorer(IE) 11です。

※本サービスは、法人会会員の皆様に対して、AGS株式会社との与信管理サービス「Neuro Watcher(ニューロワッチャー)」を通して株式会社東京商エリサーチ・エクスペリアンジャパン株式会社の情報を基にご提供するサービスです。

※本サービス内容は2020年11月時点のものとなります。

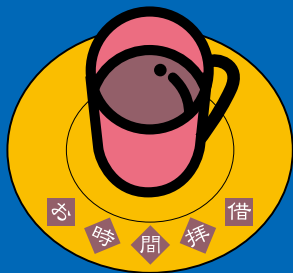
【お問い合わせ先】



AGS株式会社

法人企画部

メール : hojinkai.ml@ags.co.jp



足の悩みをトータルで解決する！

株式会社 丸丹フットイット 代表取締役

辻本 昌孝氏

常務取締役

辻本 英之氏



戦後、荒廃した名古屋の復興を願って

——丸丹スポーツの創業からフットイットに至る経緯をお聞かせください。

【昌孝】 先代、辻本俊之（義父）は文具を扱う篠田商会さんに勤務していましたが、終戦直後、一時休業されました。義父は篠田商会さんの社長代理で、かつて篠田商会があった栄町の町内の会合に出させて頂いていました。独立するにあたり、できることなら栄町で開業したいと相談していたところ、顔見知りの地元の人に「オリエンタルビルの辺りで、土地を貸したい人がいるよ」と声を掛けていただき、「辻本さんは篠田商会にいた人で真面目な人だ」と地主さんに口添えしていただいて快く借りることができました。

日本は敗戦して終戦となりましたが、出征していた篠田商会さんの跡取りの方がロシアに抑留されて、帰還されたら篠田商会さんを再開されることが分かっていたので、独立するに当たり義父は文房具、事務機以外の商売を模索していました。

義父は、どのような商売をしたらいいか、当時の教育委



footit. (株式会社 丸丹) オーダーインソールスタジオ

名古屋市中区栄4-15-14 栄ハイホーム1F
phone 052-264-1136
fax 052-264-1192
E-mail: tsujimoto-hi@marutansports.co.jp
定休日：日曜日、月曜日
OPEN：10：00-18：00
コロナ対策のため、当分の間、予約制で営業します。



員長さんに相談に行ったところ、「荒廃した名古屋を復興させ、青少年の育成のためにスポーツ用品を扱うと良い。」言われました。又、教育委員長さんはテニスをされていたので、「特にテニスに力を入れなさい。」とアドバイスを頂きました。

そして、店名は、家の近くの易者さんに相談したところ、「丸丹」という名前にするとよい。良いものを扱えば必ず繁盛すると宣託されたそうです。

昭和22年（1947）、辻本俊之（義父）と優子（義母）は、「丸丹運動具店」を創業し、幸いに商売は順調に進んでいきました。

昌孝は昭和47年（1972）4月に入社いたしました。

私が入社した頃は、スポーツ用品の40%OFFというようなディスカウント商法が盛んになって、対策に苦労致しました。

スポーツ用品の中では高額品のスキー用品が標的となりました。さらに、その頃から進行しておりました少子化によるスポーツ用品の需要の低迷もありました。当時はスポーツ店として、春はテニス、陸上、野球、バレー、バスケットボール用品、夏はキャンプ用品、秋から冬はスキー

用品と幅広く販売していましたが、売上は下がりっぱなしで悩んでおりました。そこで今までの取扱商品に代わるものを模索する中で、業界としては少し先駆けすぎかと不安もありましたがNIKEとadidasの専門店を始めました。（後にNIKEのみの展開となりました。）

それとは別に大型量販店にできない商売は何か無いかと模索していたとき、ある縁で1990年頃からドイツ人のシューマイスター（ドイツ整形靴技術者）のカール・ハインツ・ショットさんの勉強会に参加する機会を得て、足の悩みや状態に合わせて、オーダーメイドで作成するインソールの必要性を痛感するようになりました。

【英之】 父の影響で、神戸にある整形靴製作の養成校でドイツ整形靴技術を学び、その後、スポーツ用品メーカーのアシックスで4年間勤務。契約選手のインソール製作に関わる業務などをしておりました。そして平成19年（2007年）に丸丹スポーツ用品㈱に入社、インソール事業と並行して、外商部では一般スポーツ用品の営業、また新規事業であるスポーツの動作分析ソフトウェア「Dartfish software」の販売代理店となり、大学、病院、研究施設、プロスポーツチームへの営業、拡販を行っていました。